



セクシュアルマイノリティの私たちから、先生へ

子どもの頃は、本当の自分でいられなかった

**今、あなたの接している子どもたちの中に
セクシュアルマイノリティはいますか？**

突然こう聞かれたとしたら、あなたはなんと答えますか？

うちの学校にはいないよ。
まだ小さいからそんな問題はないよ。
いるかも知れないけど…わからない。
セクシュアルマイノリティって…何？

セクシュアルマイノリティとは、ゲイやレズビアンといった同性愛者や性同一性障害者など、周囲の人々とは「性」のあり方が異なる人たちのことです。

ある統計によると、同性愛者は約20人に1人とわれ、性同一性障害者は推定で、身体的な男性なら1万人に1人、女性なら3万人に1人とも言われています。

どうでしょう？あなたの接してきた子どもたち、あるいは、今、接している子どもたちの中に、セクシュアルマイノリティはいないと言い切れるでしょうか？

このリーフレットは、セクシュアルマイノリティの子どもへの正しい理解と接し方のヒントとなるようにとの願いを込めて作成しました。

1. セクシュアルマイノリティって? (性的少数者の基礎知識)

- **性同一性障害 (GID: gender identity disorder、トランスジェンダー、トランスセクシュアル)**

性の自己認識(こころの性)と身体的な性別(からだの性)とが異なった状態。こころの性が女性、からだの性が男性の場合はMTF (Male to female)、こころの性が男性、からだの性が女性の場合はFTM (Female to male)と呼ばれる。物心ついた頃から、自分のからだが間違っていると感じ、二次性徴でこころの性とは反対の性の身体に変化していくと、身体への違和感が強くなり、自殺を考える場合も多くなる。また、成人後に違和感が強くなる場合もある。

性同一性障害の診断において、恋愛に関しては、男性を好きになるか、女性を好きになるかは問われない。こころの性からみるとヘテロセクシュアル(異性愛者)であっても、周りから見ると外見的にはホモセクシュアル(同性愛者)のように映る。
- **ホモセクシュアル、バイセクシュアル**

ヘテロセクシュアル(異性愛者)との対比から「病名」として生まれた言葉。ホモはホモセクシュアルの蔑称。自分自身を身体的にも男性、精神的にも男性と感じているが、男性を好きになる場合はゲイ(男性同性愛者)と呼ばれる。ゲイという言葉は、広義には同性愛者全体を指す場合もある。

また、自分自身を身体的にも女性、精神的にも女性と感じているが、女性を好きになる場合はレズビアン(女性同性愛者)と呼ばれる。レズもピアンもレズビアンの略語。レズは蔑称。

好きになる対象が男性や女性などの性別に関わらない場合は、バイセクシュアル(両性愛者)と呼ばれる。
- **インターセックス(半陰陽)**

卵巣や精巣の状態、その他の性器や外陰部の形、ホルモンの状態、あるいは、性染色体の状態などが、男性、女性のどちらにも当てはまらない状態。様々な状態が含まれ、性の自己認識(こころの性)は性染色体と同じ場合も、異なる場合もある。自覚している性別、あるいは、育てられている性別とは別の性の特徴を持った二次性徴が起きたり、場合によっては性交や妊娠に支障が起きたりすることもある。
- これらの他にも、性的少数者とされる人は多く存在します。

2. 「いろいろな人がいて当たり前」という価値観を育ててほしい。

ちび、デブ、出っ歯、のっぽ…etc. 他人を攻撃し傷つける言葉はたくさんあります。そして、これらの言葉とともに、差別が行われてきました。このような言葉を使わないように注意することも必要です。しかし、安易な「言葉狩り」では、差別や偏見がなくなることはないこと、ご存じのことかと思えます。

大切なのは、「外見や、本人には変えようのないことで、その人の全てを決めつけてはいけない。」「どのような理由があっても、人を差別することは人間として悲しいこと、憎むべきことである」と子どもたちにきちんと教えることだと思います。性自認や性指向を理由に、人を差別することは決して許されないのだという認識を、先生方にも持っていただき、子どもたちに伝えていただきたいのです。

3. 「他者から認められる機会」が多くなるように工夫してあげてください。

学級経営の中で、すでに多くの先生方が、このような取り組みをされていることかと思えます。人が幸せに生きていくためには「自分はかけがえのない、大切な存在だ」という自己肯定感が不可欠でしょう。そして、それは教育上、最も重視されることの1つであるとされています。

セクシュアルマイノリティの子どもたちに対してのみ、自己肯定感を育ててほしいと言っているわけではありません。これまでどおり、友だち作りのうまくいかない子、1人で悩みを抱え込んでいる子、家庭での愛情不足の子、自分に自信の持てない子どもたちに、先生方の熱い情熱と教育愛を注いでいただきたいのです。これらの中には、セクシュアルマイノリティの子どももいると思います。

4. 教科書に載っていない部分を先生がつけ加えてくれたら、 マイノリティの子どもたちも「このままでいいんだ」と思えます。

教科書はその性質上、多数意見を基本にして記述しています。それは仕方のないことかもしれませんが、でも、「大多数に当てはまることがすべて正しくて、それに当てはまらないのは『おかしい』」という価値観を子どもたちが持ってしまったら…？

セクシュアルマイノリティの多くは子ども時代、「自分はみんなと違って『おかしい』んだ」という強い自己否定感を抱えて過ごしています。また「違う」ことでいじめられた経験を持つ人も少なくありません。先生方から授業の中で「価値観の多様性を認めることの大切さ」を話してもらえれば、きっと救われる子どもたちがいるはずです。

あなたが今接している子どもたちの中にも、セクシュアルマイノリティの子どもがいる可能性があります。あなたの何気ない「男の子だから」、「女の子だから」という言葉が心に突き刺さる場合もあります。教科書に載っていないマイノリティの話を、あなた自身の言葉でわかりやすく話してあげてください。

5. 性の悩みは、思春期になってからの問題ではありません。

セクシュアルマイノリティの子どもたちが、性に関連した違和感を持ったり、そのことで悩んだりする時期は、決して思春期だけではありません。物心ついた時、すでに「自分は違う」となんとなく自覚していたという当事者は少なからずいます。小学校に入学してきた時には、すでに、このような違和感に悩み苦しんでいる子どもがいるかもしれないという視点を、心のどこかに持って置いて欲しいのです。

6. 「先生は、いつでも味方です。」

自分と同じような「仲間」がおらず、情報も少ないセクシュアルマイノリティの子どもたちは、孤独感を感じています。でも、先生が理解してくれれば、これほど心強いものではありません。実際に教職員の中にも多くのセクシュアルマイノリティがいますが、幼いころに自分が体験した苦しみを、今の子どもたちには繰り返して欲しくないという気持ちで頑張っています。セクシュアルマイノリティではなくても、同じような気持ちで子どもたちに接している先生方もいらっしゃるでしょう。また、子供のころにそのような苦しい経験はなくても、多くの先生方は人権教育への深い理解と実践力をお持ちかと思えます。私たちは、そんな先生方と一緒に努力したいと思っています。

7. リアルな教育のために、私たちもお手伝いします。

昔に比べたら人権教育もずいぶん進歩しました。それは、先生方が多くの事例に学び、研究を重ねてきた成果です。その結果、子どもたちにとって、よりリアルで心にしみる教材ができ、授業も充実してきました。このような人権教育の中に、セクシュアルマイノリティの要素も取り入れた実践教育をしていただけるなら、私たちもお手伝いいたします。

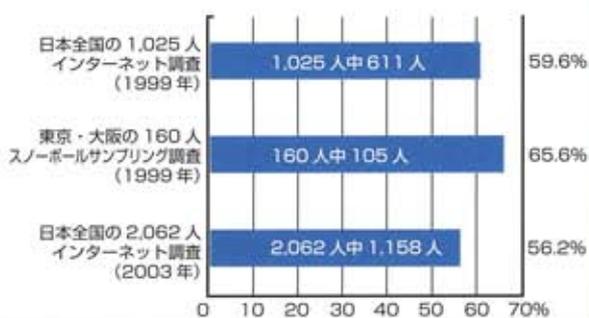
「PROUD in 香川」では、教育機関などへの資料提供、相談活動、出張講義などを行っています。私たちがみなさんの前に立つことで、リアルなモデルとなり、社会的な理解を深めてもらえればと願っています。はじめは、驚きや物珍しさの方が大きいかもしれませんが、しかし、会話をしていくうちに共感し、きっと、「あ、同じなんだ」と理解し合えることと信じています。どうか気軽にお声をかけて下さい。

性同一性障害に関する日本での出来事

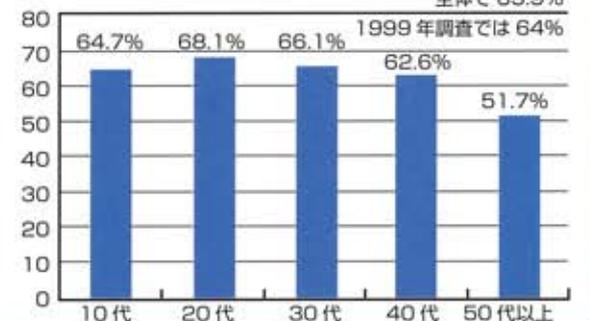
- 1969年 ブルーボーイ事件（精巣を摘出した医師が有罪判決）以降、公式な性同一性障害の治療が行われない状況が続く（27年間の医療的空白）
- 1996年 埼玉医科大学倫理委員会が性転換手術を承認（公式な性同一性障害治療の開始）
- 1997年 日本精神神経学会「性同一性障害に関する特別委員会」がガイドライン（第1版）作成
- 1998年 埼玉医科大学にて日本初の公式の性転換手術
岡山大学医学部ジェンダークリニック発足
- 1999年 第1回「GID（性同一性障害）研究会」開催
- 2001年 岡山大学にて国内2施設目の性別適合手術（GID研究会にて「性転換手術」から名称変更）
性同一性障害を主題としたテレビドラマ「3年B組金八先生」放映（2001年秋～2002年春）
- 2002年 ガイドライン改定（第2版）
競艇選手の安藤大将さん（FTM）が男性選手に登録変更
- 2003年 上川あやさん（MTF）が世田谷区議会議員に当選
「性同一性障害の性別の取り扱いの特例に関する法律」成立（2004年7月より施行）
- 2004年 カルーセル麻紀さん（MTF）が性別変更
関西医科大学が性別適合手術を実施
- 2006年 ガイドライン改訂（第3版）
性同一性障害の小学生（MTF）が女兒として受け入れを認められる（兵庫県）
- 2007年 中村中さん（MTF）がNHK紅白歌合戦に出場
- 2008年 「特例法」の子なし要件の改正
〔特例法が施行され、2004年7月から2008年12月末までに、1263名の戸籍の性別変更が認められている。〕

セクシュアルマイノリティへのアンケート調査から

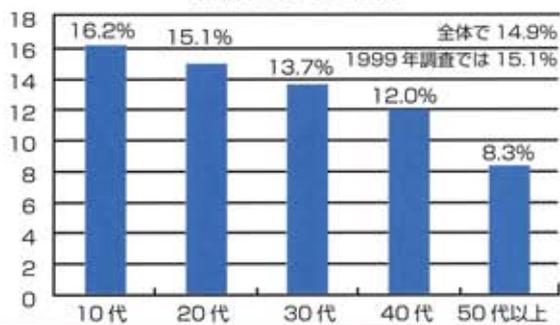
「ホモ・おかま・おとこおんな」などの言葉によるいじめ被害割合



これまでに自殺を考えたことがある割合
全体で65.9%



自殺未遂をした経験



出典：厚生労働省エイズ対策研究推進事業「ゲイ・バイセクシュアル男性の健康レポート2」京都大学大学院医学研究科/日高康晴 <http://www.gay-report.jp>
Hidaka Y, Operario D (2006)
Attempted suicide, psychological health and exposure to harassment among Japanese homosexual, bisexual or other men questioning their sexual orientation recruited via the internet.
Journal of Epidemiology and Community Health, 60, 962-967

PROUD in 香川

PROUD in 香川は以下のような教育的アプローチを展開していきます！

- * 親や教育関係者への情報提供
- * 子どもへの情報提供
- * 教育機関や関係団体への情報提供と要望活動
- * 教育現場への出張講義等

私たち「PROUD in 香川」は香川県高松市を拠点に活動しています。メンバーの中にはゲイ、レズビアン、性同一性障害者、異性愛者・・・いろいろな人がいて、どうしたらみんなが「より自分らしく、幸せに生きられるか」を一緒に考え、さまざまな活動をしています。

私たちは、セクシュアルマイノリティであるがゆえに学校や家庭で多くの辛い経験をしてきました。偏見や差別にはじまって、強い自己否定、将来への絶望感、自傷行為、自殺など、私たちの仲間の多くが多かれ少なかれこうした経験をしてきました。しかし、これらの多くは周囲の人々の理解やちょっとした配慮、また、教育の力によって取り除けるのです。そこで、現在も間違いなく存在しているはずのセクシュアルマイノリティの子どもたちにとって、学校がどのような場であってほしいか、先生たちにどのような教育をしてほしいか、話し合ってみました。

「もしかしたらうちのクラスにも・・・」ぜひ、明日からはそういう気持ちで子どもたちと接してみてください。先生のちょっとした心づかいで、救われる子どもがいるかもしれません。

PROUD in 香川 公式webサイト <http://www15.tok2.com/home/proudia/>
お問い合わせ先 TEL/FAX:087-811-7665 メール:proudinkagawa@hotmail.com

監修/中塚幹也(岡山大学大学院保健学研究科教授)

2009年3月版